

経営比較分析表（令和元年度決算）

埼玉県 神川町

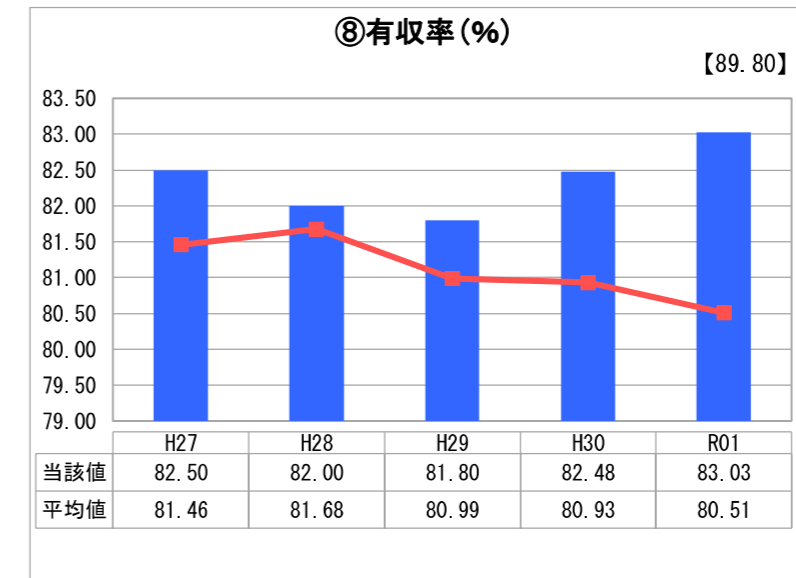
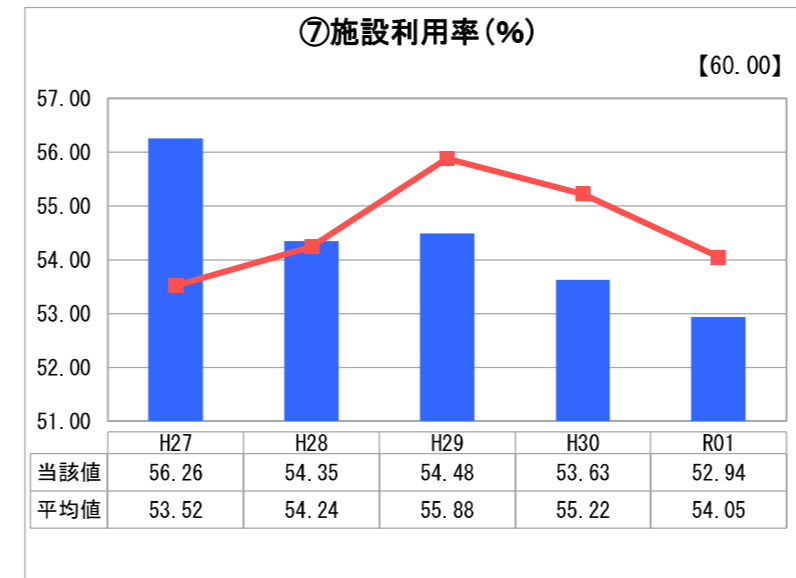
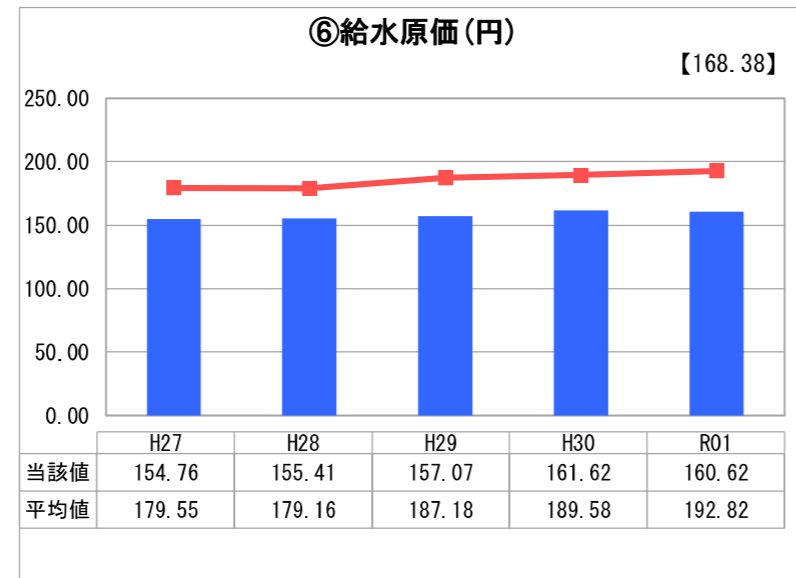
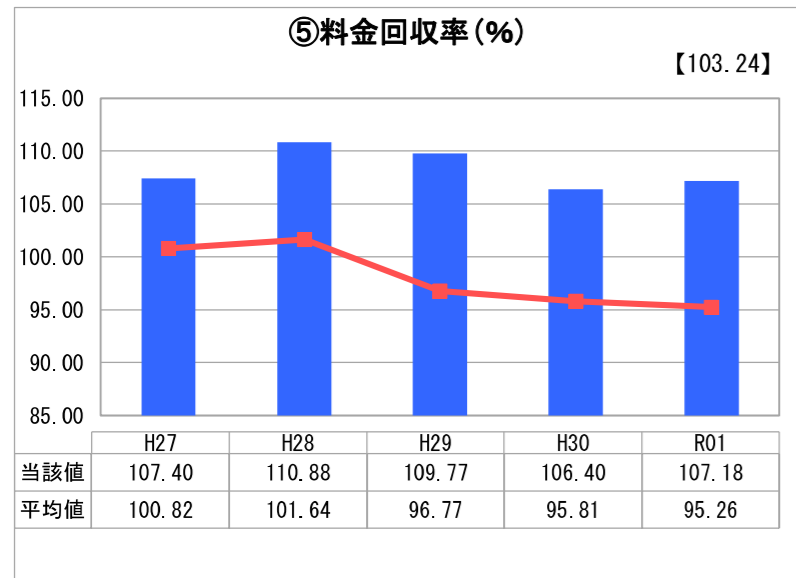
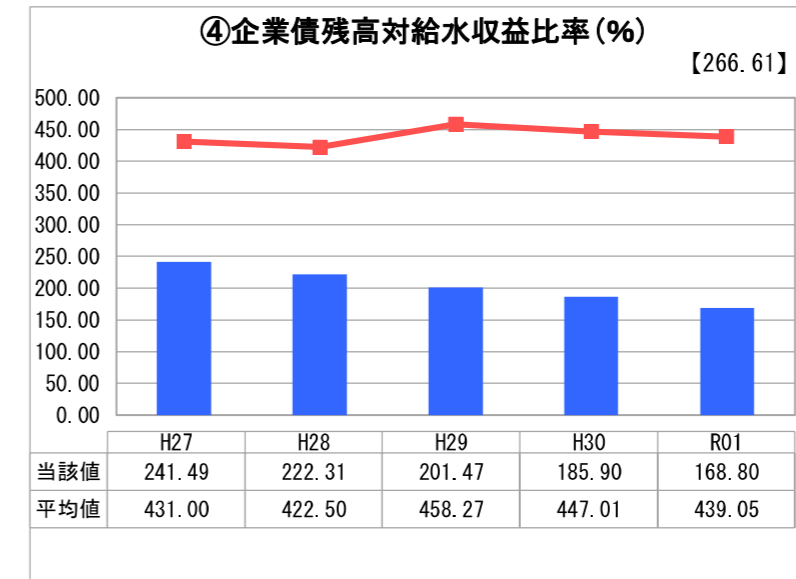
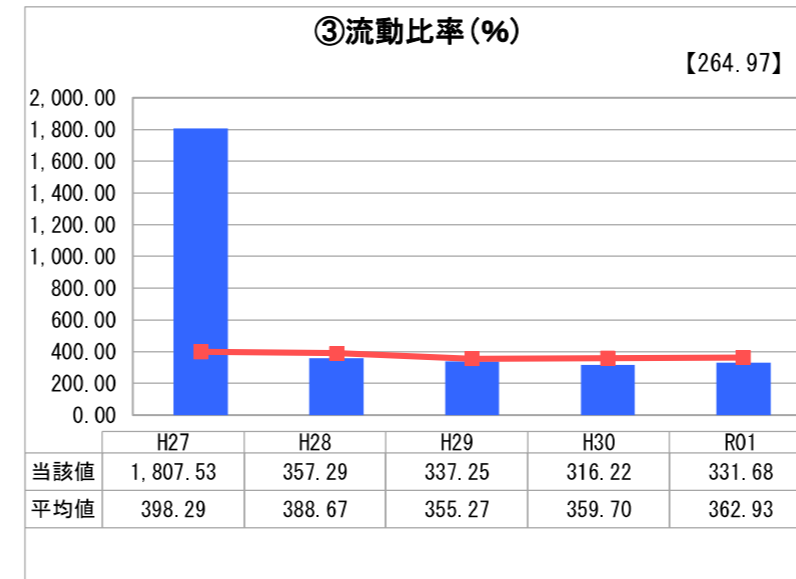
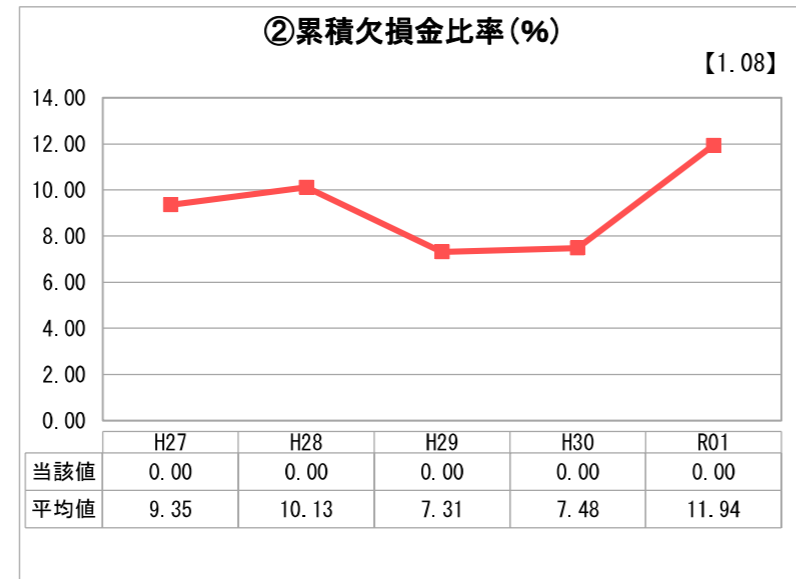
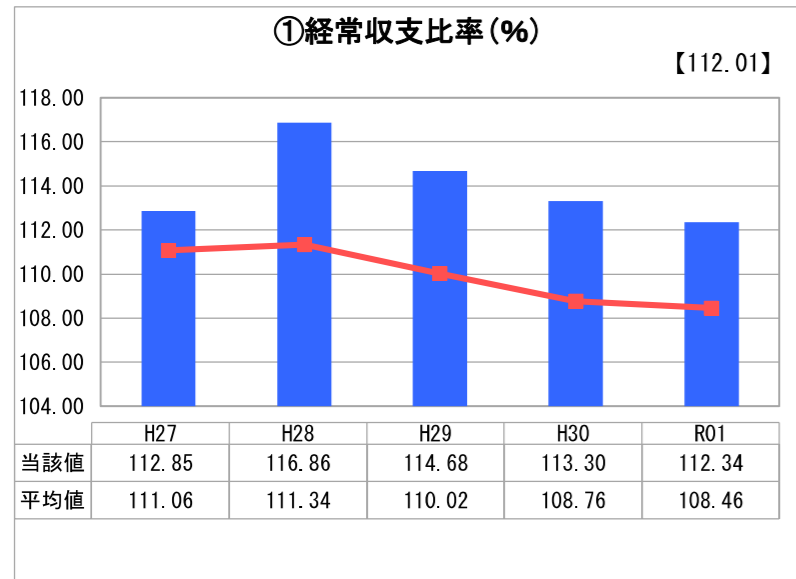
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A7	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)	
-	79.62	99.00	3,190	

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
13,507	47.40	284.96
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
13,315	46.58	285.85

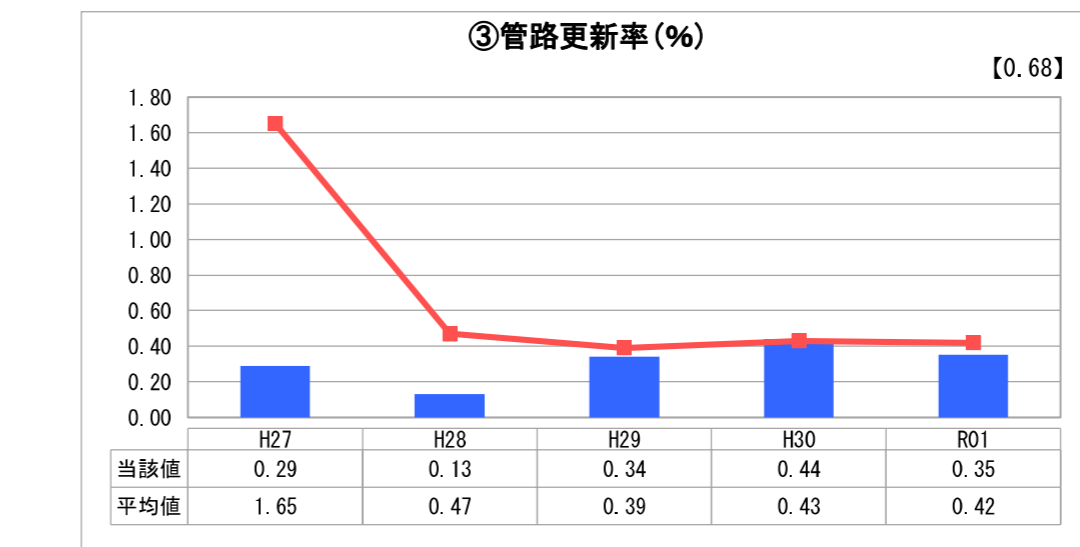
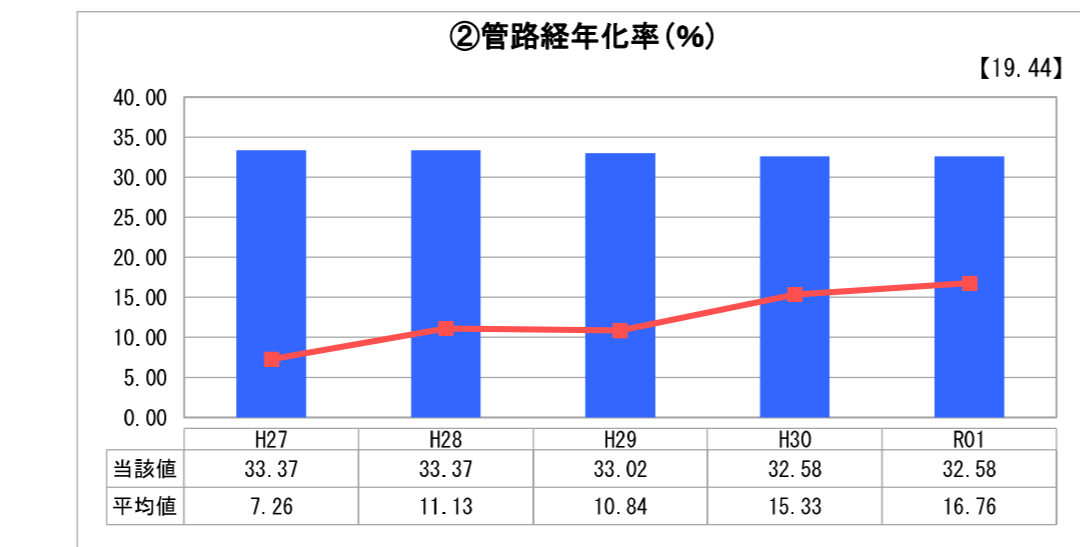
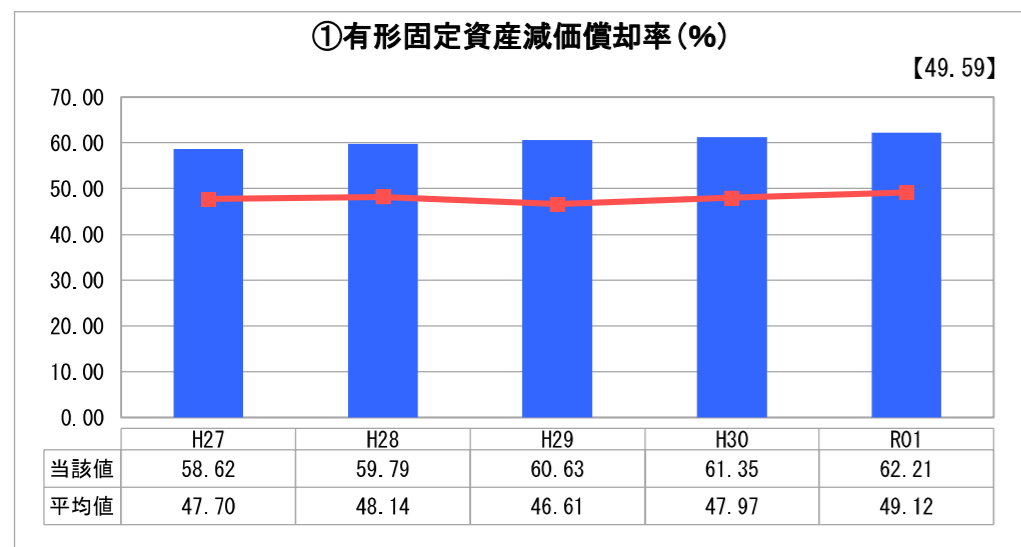
グラフ凡例

- 当該団体値（当該値）
- 類似団体平均値（平均値）
- 【】 令和元年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

① 経常収支比率は、100%を上回っており、類似団体平均値も上回っている。
 ② 累積欠損金は生じていない。
 ③ 流動比率は100%を超えており、短期的な債務に対する支払能力を有しており問題ない。
 ④ 企業債残高対給水収益比率は、類似団体平均値を大きく下回っており、比率も年々下降している。
 ⑤ 料金回収率は、平成26年度まで100%を下回っていたが、平成27年度以降は、会計基準の見直しにより給水原価の算出方法が変更されたことから、100%を上回る結果となった。しかし、これは算出方法が変更されたことによるものであり、実態に変化があったわけではないため、経営状況は依然として厳しい状態が続いている。
 ⑥ 給水原価は、効率的な事業運営に努めてきたことなどから類似団体平均値を下回っているが、給水収益の減少が見込まれるため、今後は増加していくことが見込まれる。
 ⑦ 施設利用率は類似団体平均値を下回っており、ダウンサイジングなど適切な規模確保が必要となる。
 ⑧ 有収率は類似団体平均値を上回っているが、今後も引き続き老朽管の布設替えの推進や漏水調査を実施すること等により、有収率の更なる向上に努めていく必要がある。

2. 老朽化の状況について

① 有形固定資産減価償却率② 管路経年化率ともに類似団体平均値を上回っており、施設管路の更新が必要である。
 ③ 管路更新率は類似団体平均値を下回っており、石綿セメント管や老朽管など早急に更新が必要な管路があるため、財政状況を勘案し、計画的に更新を進めていく必要がある。

全体総括

給水人口、及び給水収益の減少が見込まれる中で、効率的に財源を確保し、施設規模の見直しや老朽化した施設や管路の更新を実施していく必要がある。

経営比較分析表（令和元年度決算）

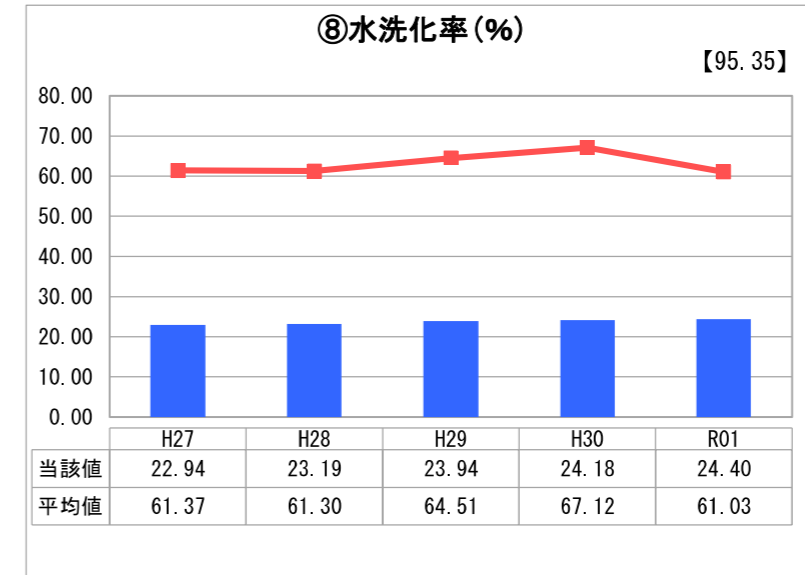
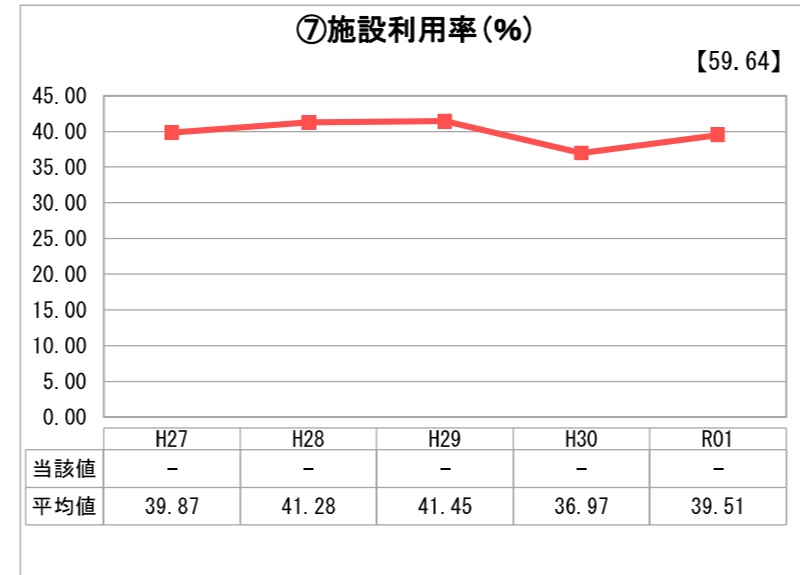
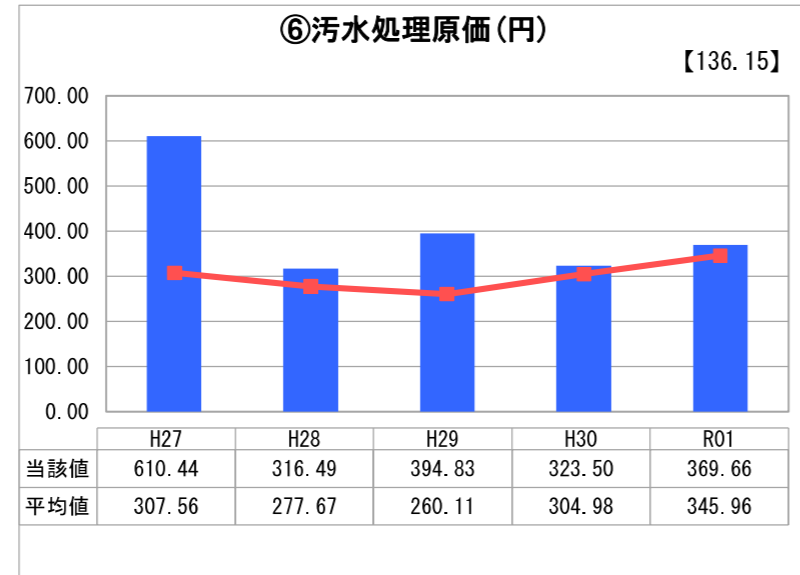
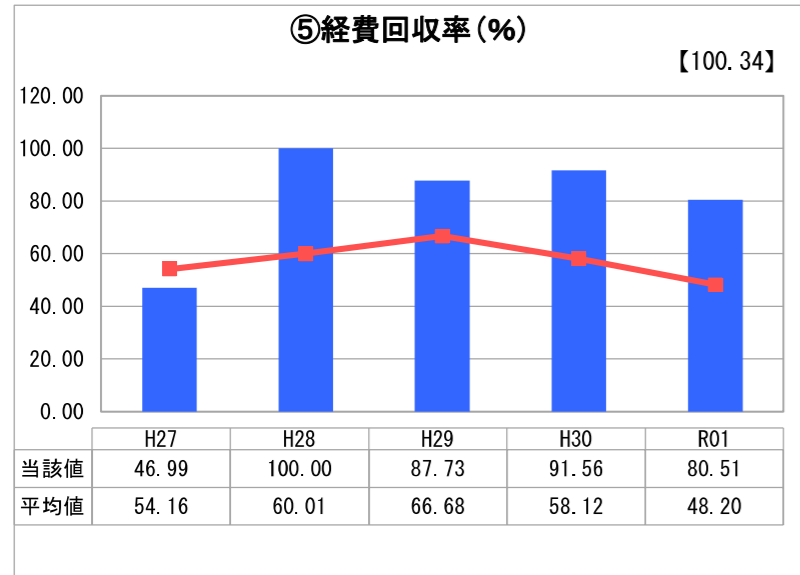
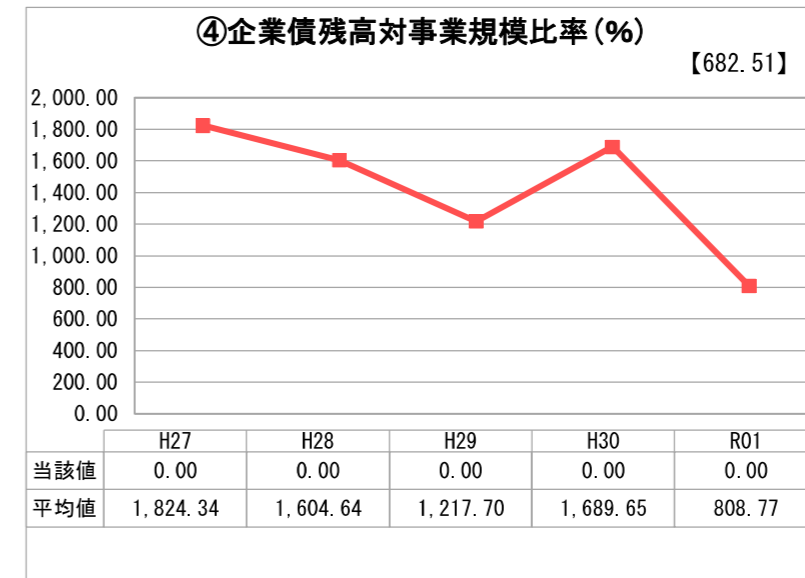
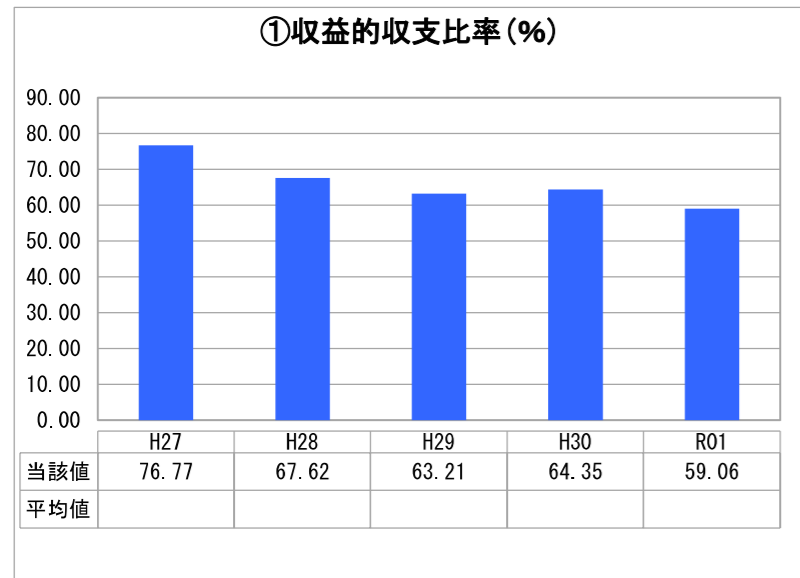
埼玉県 神川町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	公共下水道	Cd3	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	3.08	95.00	2,420

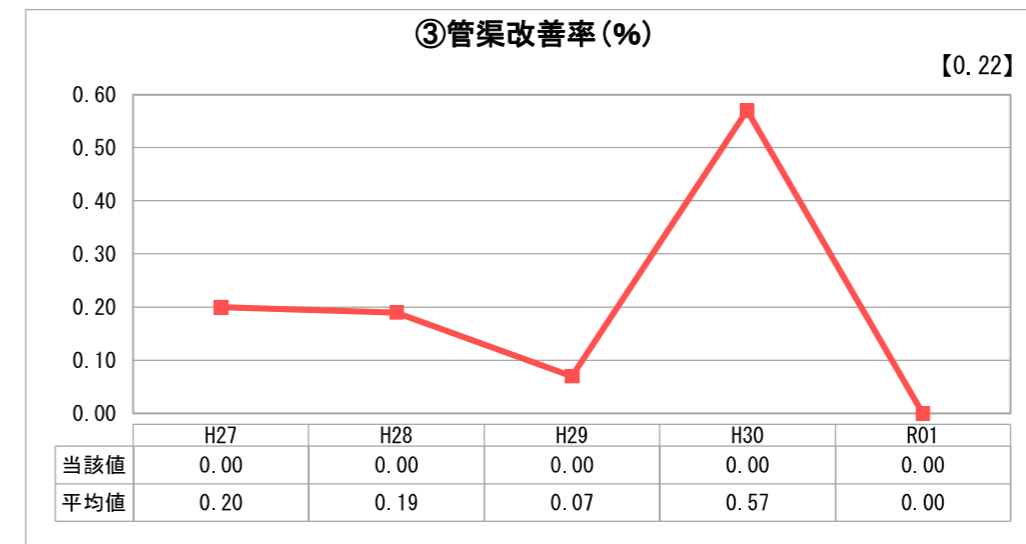
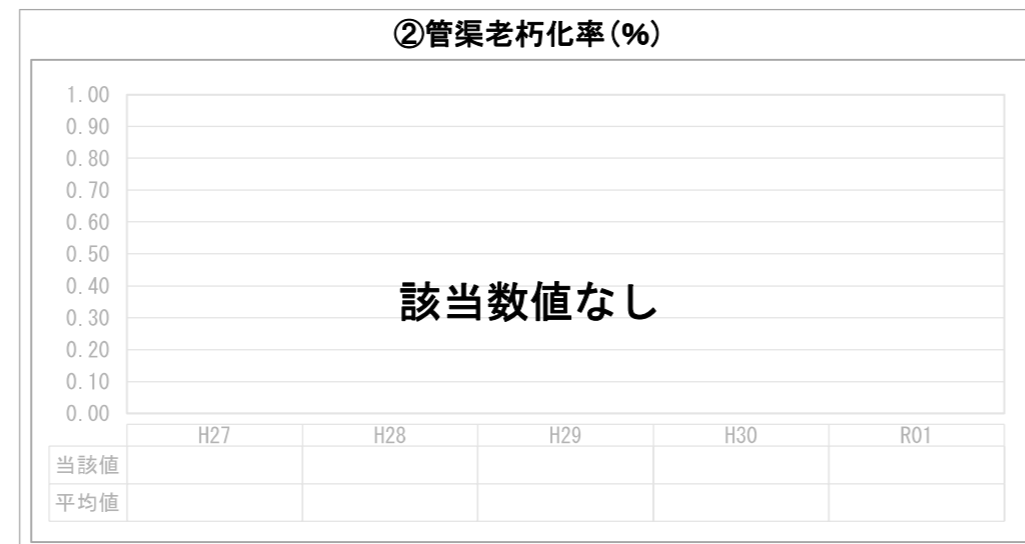
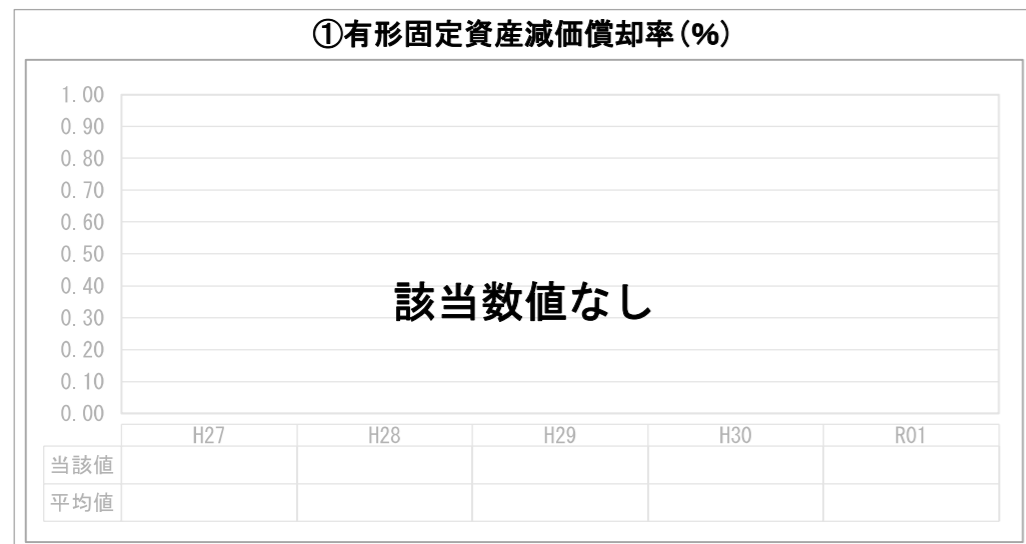
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
13,507	47.40	284.96
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
414	0.54	766.67

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
【	令和元年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①収益的収支比率
平成30年度に一度上昇したが、令和元年度に再び減少に転じている。コロナ禍による工場の休業により、有収水量が減少したため。

⑤経費回収率
コロナ禍の影響で工場の稼働率が下り、汚水量が減少し使用料収入の減少につながった。

⑥汚水処理原価
昨年度から引き続き増加しており、類似団体よりも高くなっている。更なる接続率向上により有収水量の増加を目指す。

⑧水洗化率
昨年度よりも若干増えたが、なお類似団体と比較して低い数値を示している。更なる接続促進が必要である。

2. 老朽化の状況について

平成21年度の共用開始であり、比較的新しい管渠、施設である。老朽化を数値で表す状況ではないが、ストック・マネジメントに基づき、管渠管口点検を実施し、現況異常はない。

全体総括

神川町公共下水道事業は、共用開始より11年経過したが、依然下水道普及途上であり、企業誘致等の施策と合わせて、接続促進活動を実施して下水道への啓発活動を促進させる。安定した事業運営を行うため接続率向上を目指す。下水道の目的である公衆衛生の向上や河川等の水質保全、良好な環境を創造するために、今後も引き続き健全で効率性の高い事業運営を目指していく。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。

経営比較分析表（令和元年度決算）

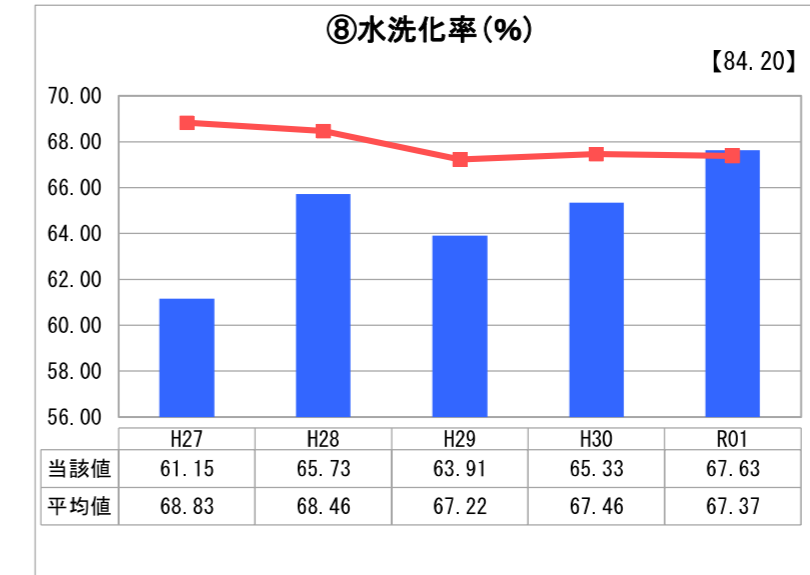
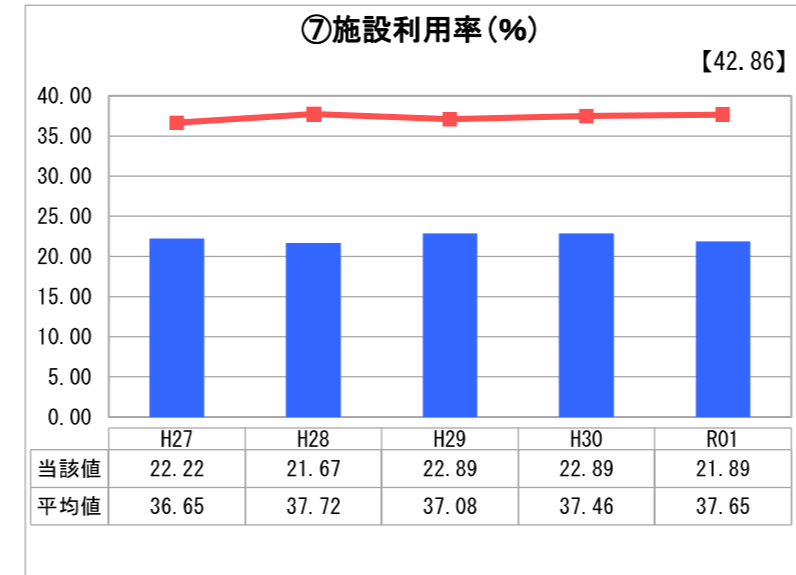
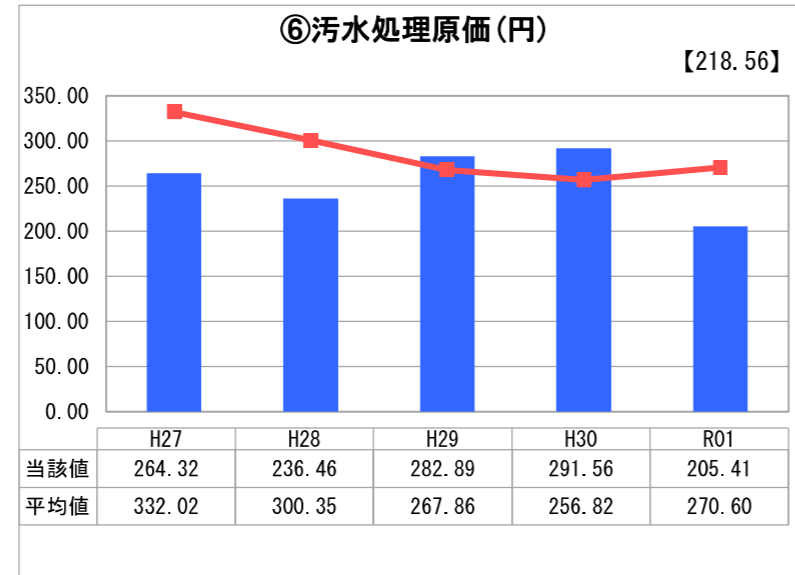
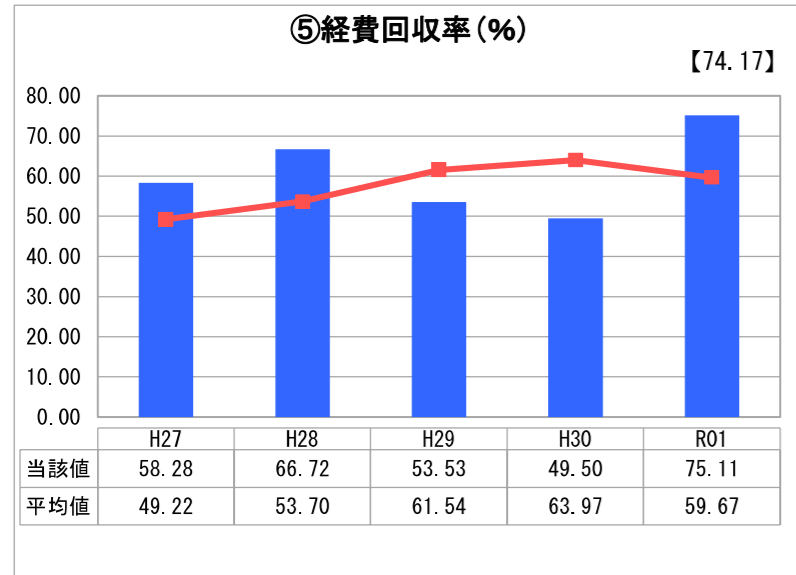
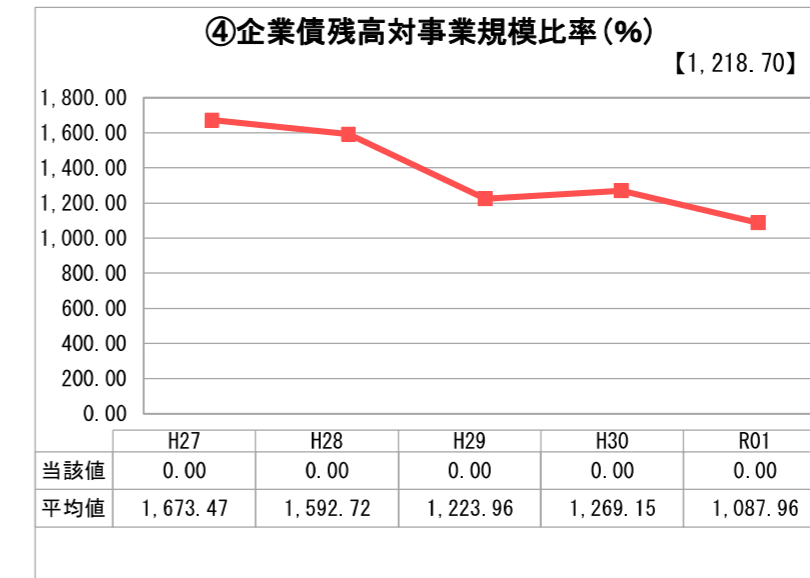
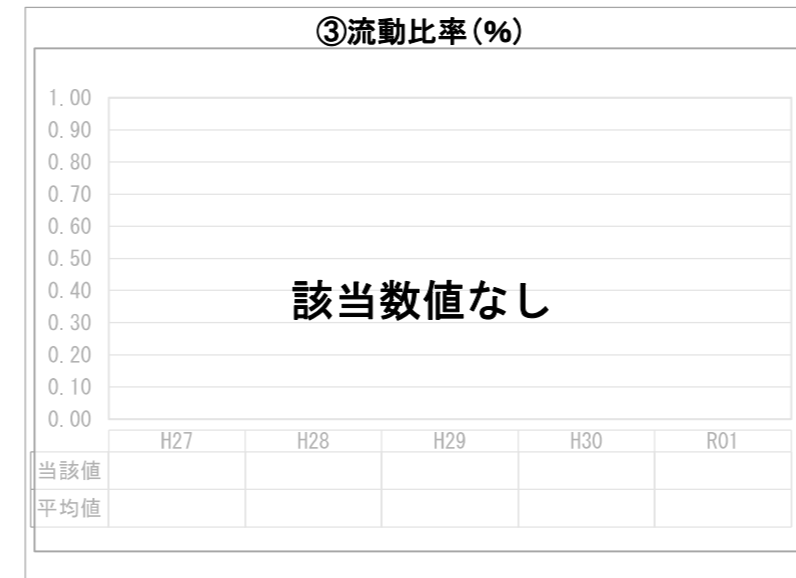
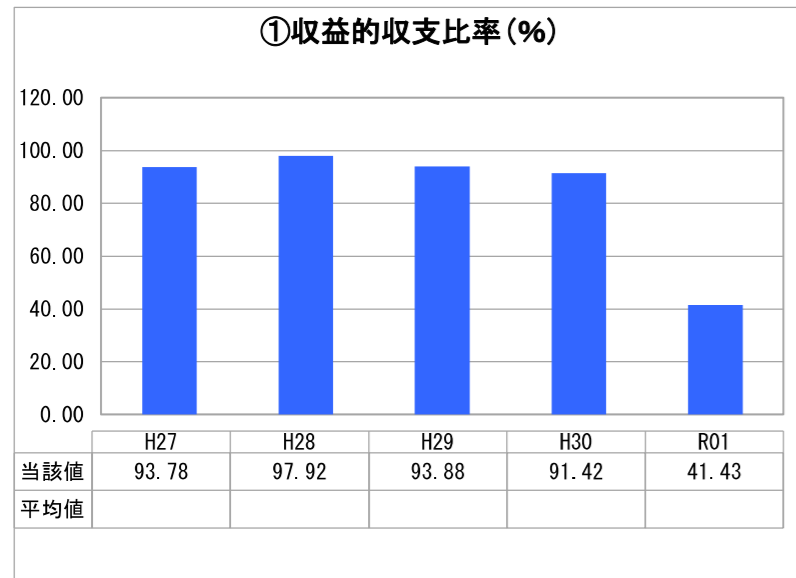
埼玉県 神川町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	特定環境保全公共下水道	D3	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	9.55	95.00	2,420

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
13,507	47.40	284.96
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
1,285	0.76	1,690.79

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
【】 令和元年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①収益的収支率
平成30年度から49.99%大幅に下がっている。これは、R4年度の公営企業会計移行を見据えて、使用料等による収益と施設維持管理等による支出の乖離の補填的役割である繰入金の見直しを図った結果である。この事により、繰入金依存度が鮮明化した。これからの運営について抜本的な改善策（使用料の改訂）が重要である。

⑤経費回収率
使用料収入について、R元年度現在数箇所宅地造成等の開発が進み接続件数が若干ではあるが増えている現状であり、昨年度の数値よりも改善が見られた。

⑥汚水処理原価
汚水1m³当たりの処理経費で、類似団体と比較して今年度は低い数値を示している。更なる接続率向上により、有収水量を増加させる。

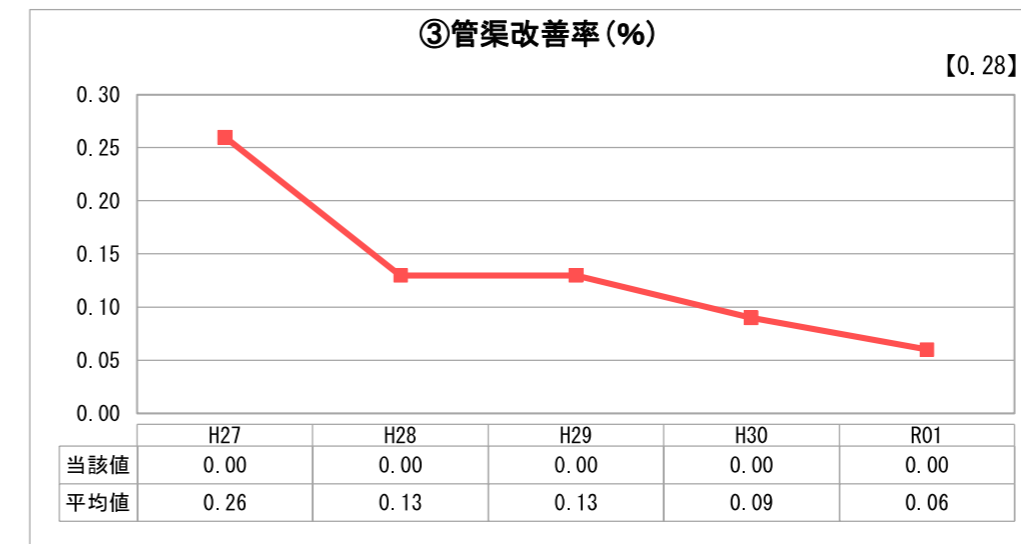
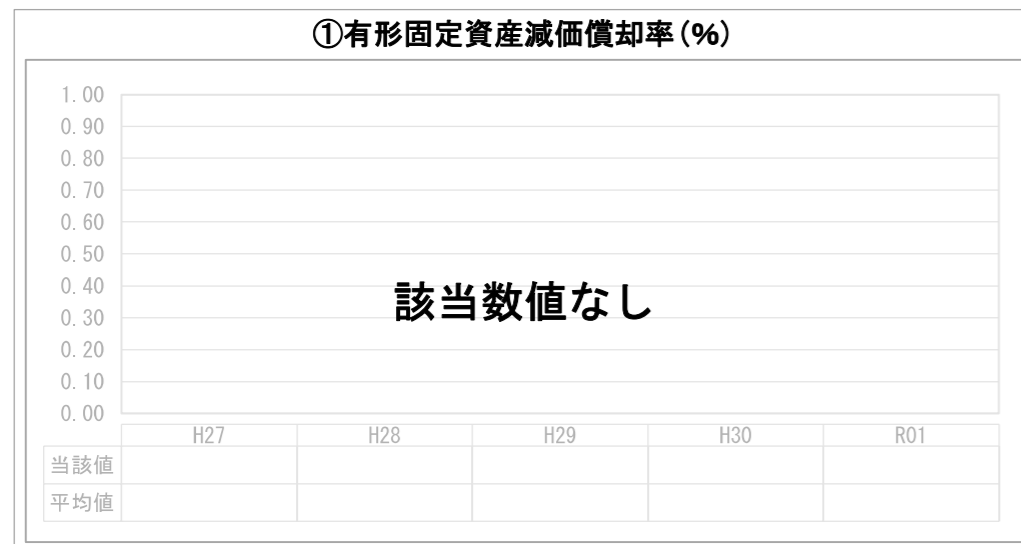
⑦施設利用率
汚水の処理能力の内どの程度使っているかを示す指標で、数値が低い状態であるが、最近では住宅の新築増や改築等による浄化槽からの切替えが増えてきており、若干ではあるが改善が見込まれる。

⑧水洗化率
類似団体と比較して昨年度よりは改善が見られるが、更なる接続促進が必要である。

2. 老朽化の状況について

平成18年度の共用開始であり、比較的新しい管渠、施設である。浄化センターも耐震基準をクリアしているが、今後は耐水に関しても注視する。老朽化を示す数値で表す状況ではないが、ストック・マネジメントに基づき、適切に維持管理を行っていく。管渠管口点検を実施したが、異常はない。

2. 老朽化の状況



全体総括

神川町（特環）公共下水道事業は、共用開始から14年。下水道普及途上であり、引き続き浄化槽の交換等に合わせて、接続促進活動を実施して下水道への理解を高める。安定的な事業運営を行うためにも、更なる接続率の向上を目指す。下水道の目的である公衆衛生の向上や河川等水質保全、良好な環境を創造するために、今後も健全で効率性の高い事業運営を目指していく。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。

経営比較分析表（令和元年度決算）

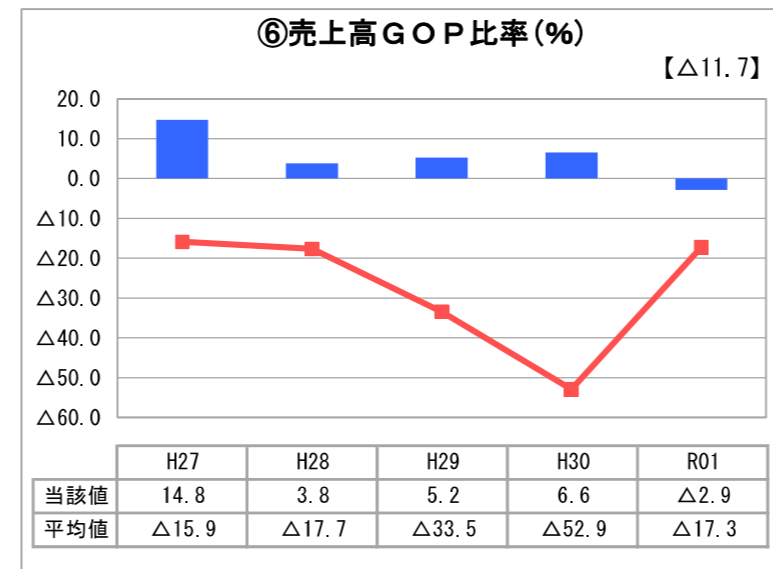
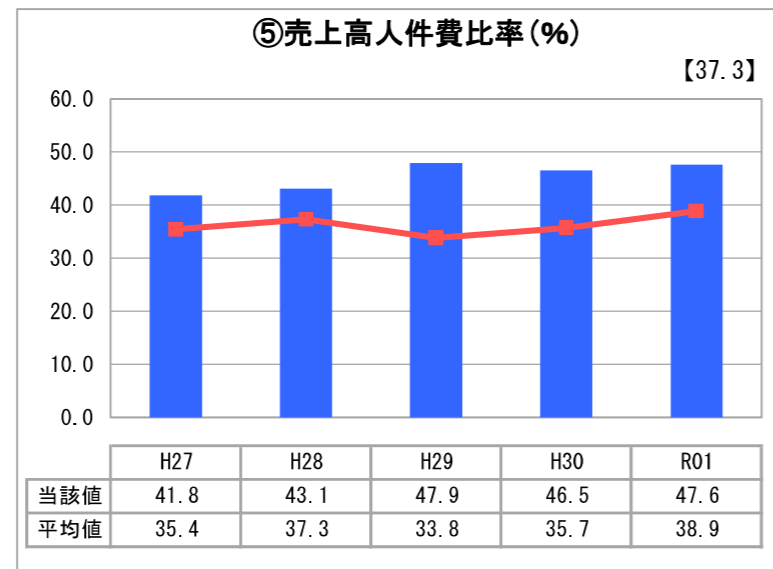
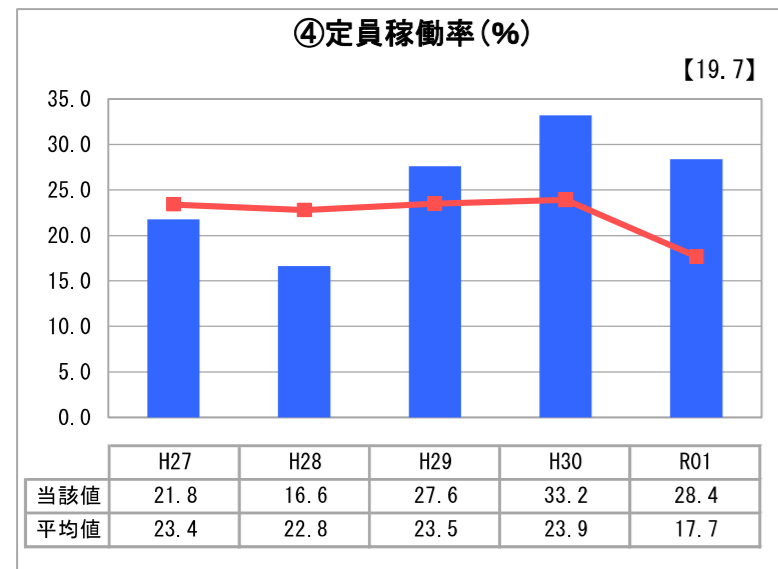
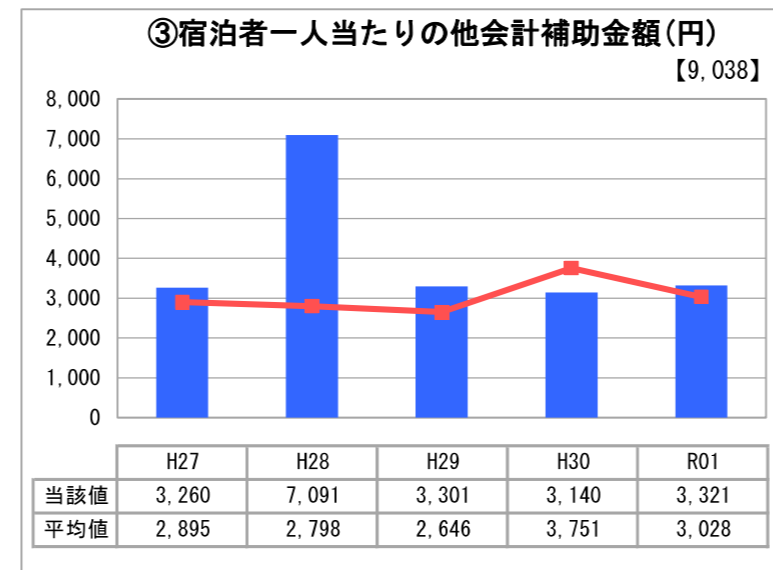
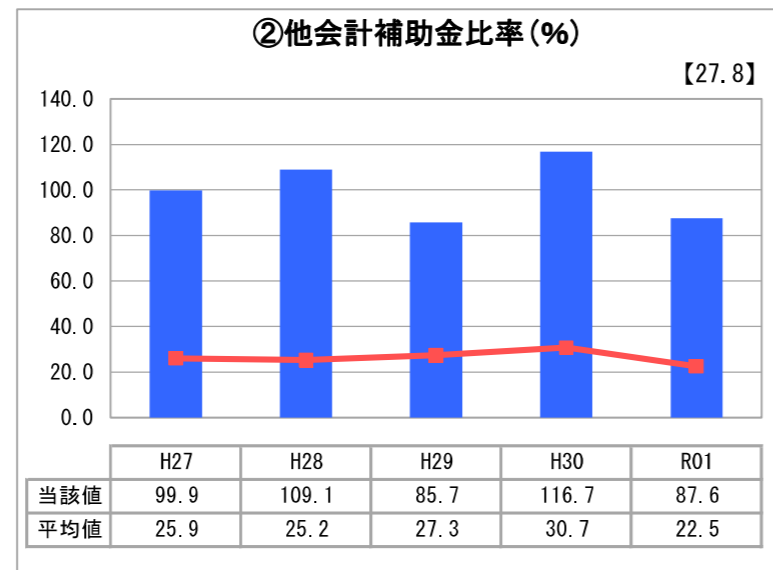
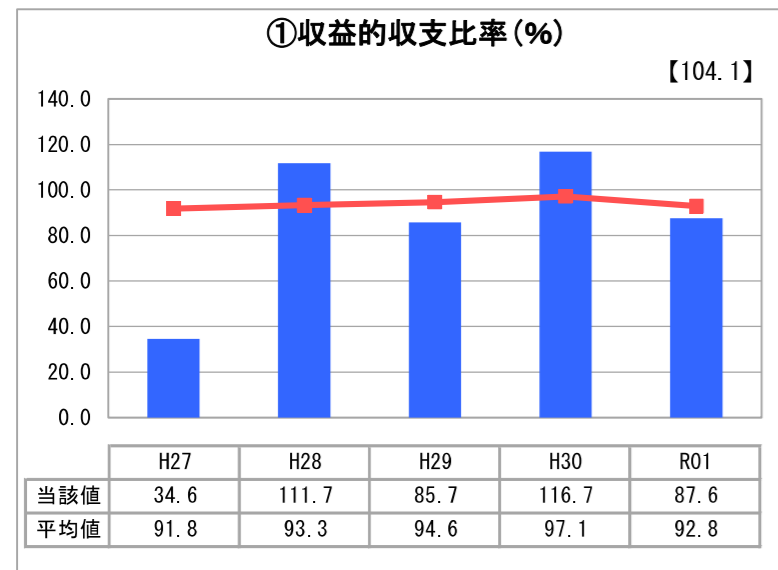
埼玉県神川町 冬桜の宿 神泉

業務名	業種名	事業名	類似施設区分	管理者の情報
法非適用	観光施設事業	休養宿泊施設	A1B1	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	建物延面積(m ²)	宿泊定員数(人)	
該当数値なし	該当数値なし	1,022	60	

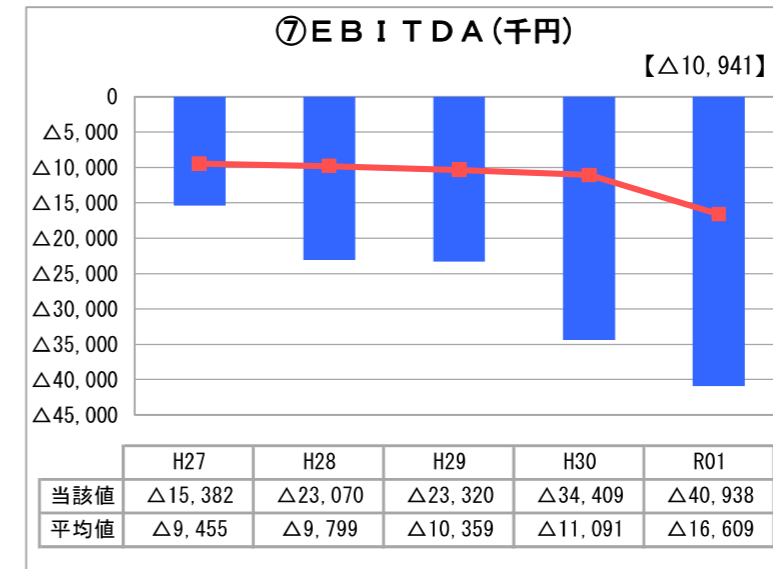
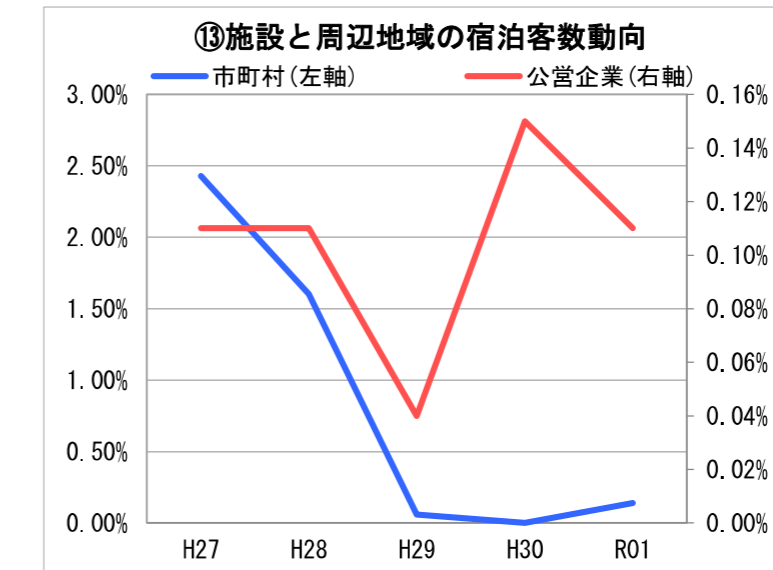
客単価(円)	指定管理者制度の導入	インターネットによる予約割合(%)
10,779	利用料金制	52.5
バリアフリー法の基準適合性	トイレ洋式化率(%)	Wi-Fi設置
有	100.0	有

グラフ凡例	
■	当該施設値（当該値）
—	類似施設平均値（平均値）
【	令和元年度全国平均

1. 収益等の状況



3. 利用の状況



2. 資産等の状況

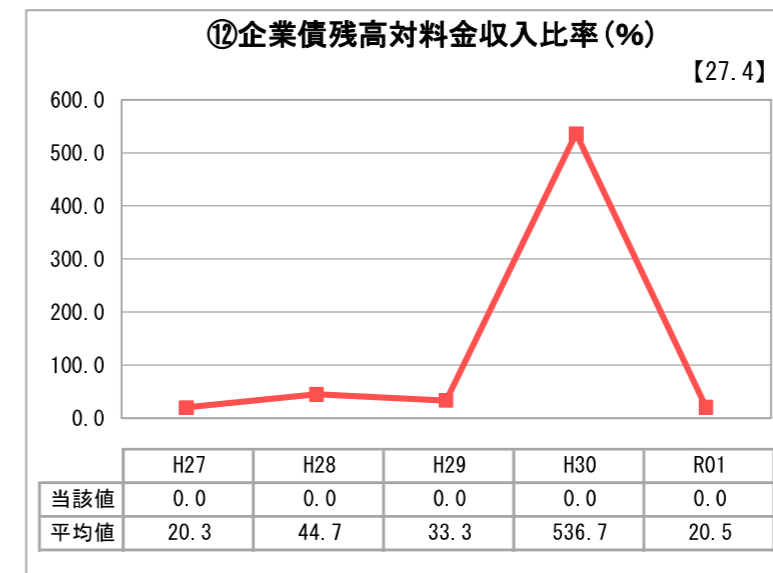


⑨施設の資産価値(千円)

214,926

⑩設備投資見込額(千円)

3,486



分析欄

1. 収益等の状況について
 ①収益的収支比率は、当該値が100%を下回ったため経営改善が求められます。
 ②他会計補助金比率③宿泊者1人当たりの他会計補助金額については、指定管理料や施設修繕に要する経費があるため独立採算の運営は難しい状況です。
 ④定員稼働率については、平均より高い状態を維持しております。宿泊者確保を行い経営改善が図られたと考えます。
 ⑤売上高人件費比率については、営業収益が減少すると比率が高くなる数値であり、平均よりも高いため適正な人件費の管理が求められます。
 ⑥売上高GOP比率とは、営業収益に対する営業総利益(粗利益)の割合ですが、当施設は平均に比べて高いと判断できます。
 ⑦EBITDAは、純利益から減価償却費などの影響を排除した指標であり、平均を下回っているため収益性が低いと判断できます。収益増加対策が必要です。

2. 資産等の状況について
 ⑩施設投資見込み額については経年劣化や災害により修繕を行いつつ、wifi環境を整備するなどの設備投資を行いました。今後は、築後16年を迎え、さらに老朽化による設備投資が増えることが考えられます。
 ⑫企業債残高対料金収入比率については、企業債と料金収入の比であり企業債は平成27年で完済しましたが指定管理者制度を導入し料金収入がないため0%となっています。

3. 利用の状況について
 ⑬施設と周辺地域の宿泊客数動向については、当該施設及び周辺地域それぞれの延宿泊が、所在都道府県の延宿泊に占める割合の推移を表す指標です。平成29年度から指定管理者の変更があり、新たな経営方針が図られ集客が増えています。

全体総括
 当該施設については、平成24年度から指定管理者制度を導入して運営しています。一般会計からの繰入金に依存しているため、より一層の経営改善により宿泊者数を増加させ独立採算の運営が求められています。当施設は下久保ダムや城峯公園に近く観光客も多く訪れる場所ではあるが閑散期における宿泊客獲得に向けた対応が必要です。